

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・弱めの動きとなっている

8月の公共工事請負金額は、県などの発注が減少したものの、国などの発注が増加し、前年を上回った。

(図表1) 公共工事請負金額 前年比、%

	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 6月	7月	8月
山形県	▲3.1	▲24.8	▲19.3	▲3.2	4.6	11.2

<資料>東日本建設業保証(株)

(注) pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの(以下同じ)。

(2) 設備投資・・・増加している

6月短観における2024年度の設備投資計画(全産業)をみると、製造業、非製造業とも増加し、前年度を上回る計画となっている。

この間、7月の建築着工床面積(民間非居住用)は、農林水産業、宿泊・飲食サービス、製造業などが増加したため、前年を上回った。

(図表2) 県内企業の設備投資額(2024年6月山形短観) 前年度比、%

山形県	2022年度(実績)	2023年度(実績)	2024年度(計画)
全産業	▲16.9	▲4.4< ▲1.8>	17.4< ▲0.2>
製造業	100.8	▲5.5< ▲1.7>	25.7< ▲1.2>
非製造業	▲61.2	▲2.1< ▲1.8>	1.4< 2.1>

<資料>日本銀行山形事務所

< >内は前回調査比修正率、%

(図表3) 建築着工床面積(民間非居住用) 前年比、%

	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 5月	6月	7月
山形県	▲30.2	105.5	▲61.7	▲47.6	144.0	133.9

<資料>国土交通省

(3) 個人消費・・・一部に弱めの動きもみられるが、底堅く推移している

7月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）は、前年を下回った。ドラッグストアは、40か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアとホームセンターは、前年を下回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2023年 10～12月	2024年 1～3月	4～6月	2024年 5月	6月	7月
全店	4.5	2.6	0.3	0.1	2.0	▲3.4
既存店	1.1	0.6	▲0.6	▲0.8	1.1	▲4.3

〈資料〉経済産業省

8月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 6月	7月	8月
乗用車 合計	8.6	9.2	▲28.7	▲6.4	7.7	▲5.6
普通車	13.9	18.3	▲13.8	▲7.2	6.5	▲14.3
小型車	7.6	1.1	▲50.3	▲23.6	▲8.5	▲10.6
軽四輪	5.2	6.5	▲27.4	6.7	22.6	6.3

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

(4) 住宅投資・・・弱い動きとなっている

7月の新設住宅着工戸数は、分譲が減少したものの、貸家と持家が増加したため、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 5月	6月	7月
山形県	1.4	▲30.5	9.2	▲37.7	▲8.2	25.3
持家	▲17.3	▲20.2	▲11.3	▲2.9	13.9	1.3
貸家	41.2	▲9.8	152.9	▲74.0	114.1	80.1
分譲	6.1	▲64.1	▲47.6	33.3	▲87.8	▲37.5

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別にみると、化学、窯業・土石製品など5業種で上昇したものの、電子部品・デバイス、情報通信機械など17業種で低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

（図表7）鉱工業指数

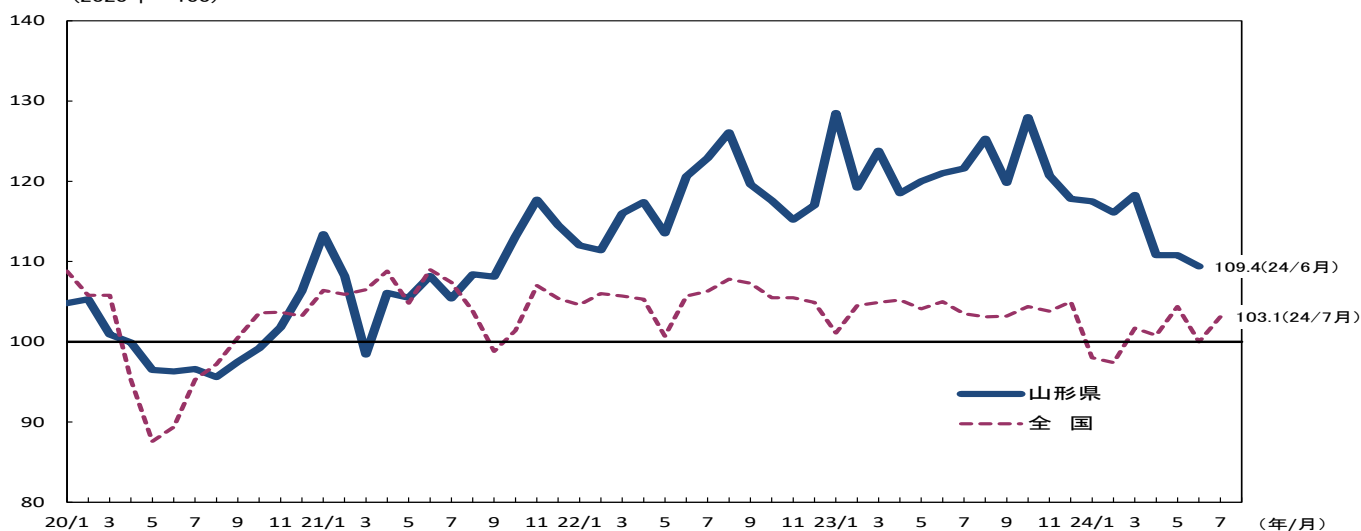
2020年基準

山形県		2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 4月	5月	6月
生 産	季節調整済前月比%	▲4.4	▲2.4	1.9	▲6.3	0.0	p ▲1.3
	原指数前年比%	▲2.1	▲3.5	▲8.3	▲3.5	▲6.8	p ▲13.2
在 庫	季節調整済前月比%	▲3.6	1.4	5.4	▲6.8	2.1	p ▲2.5
	原指数前年比%	▲0.4	9.4	8.4	▲1.3	1.6	p ▲3.0

〈資料〉山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2020年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.30倍となった。業種別の新規求人数をみると、医療・福祉、宿泊・飲食サービスなどが減少した一方、サービスなどが増加した。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2023年 10～12月	2024年 1～3月	4～6月	2024年 5月	6月	7月
有効求人倍率	1.35	1.32	1.28	1.32	1.28	1.30
完全失業率	1.7	2.1	1.7	—	—	—

〈資料〉総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は前年を下回った。所定外労働時間は前年を上回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 4月	5月	6月
常用雇用指数	0.5	1.3	1.1	r 1.1	0.2	▲0.1
所定外労働時間	▲12.3	▲10.1	▲9.5	▲4.8	▲1.0	6.3

<資料>山形県

6月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020年基準、事業所規模5人以上、前年比、%

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 4月	5月	6月
現金給与総額 (名目賃金指数)	1.3	5.2	0.3	0.1	3.1	4.9
きまって支給 する給与	0.2	0.9	1.3	1.4	1.8	1.6

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・低水準ながら前年比増加

8月の企業倒産(負債額10百万円以上)は7件、負債総額は28.0億円となった(前年同月は3件、4.1億円)。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 6月	7月	8月
件数	12	5	13	6	5	7
負債総額	40.8	17.3	13.2	4.7	11.8	28.0

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回った

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数 2020年基準、前年比、%

山形市	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 5月	6月	7月
総合	3.4	3.5	3.5	3.9	3.4	2.9
生鮮食品を除く総合	3.0	3.1	3.3	3.7	3.1	2.9

<資料>山形県

7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を下回った。県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。この間、貸出金利は横ばい圏内で推移している。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2023年 9月	12月	2024年 3月	2024年 5月	6月	7月
実質預金+CD (末残前年比)	1.5	0.5	0.2	▲0.5	0.3	▲0.1
貸出金 (末残前年比)	3.5	3.5	4.6	3.6	4.3	4.2

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2023年 10~12月	2024年 1~3月	4~6月	2024年 5月	6月	7月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.003	0.000	0.018	0.009	▲0.001	0.003

7月末水準
0.887%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004